

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	湯 立	所属	長崎大学
研究会等名称	留学生ネットワーク・教育心理学勉強会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 16 名（うち認定心理士 0 名） 非会員 15 名（うち認定心理士 0 名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 目的と実施内容 集会の目的は、在日の中国人留学生・研究者と中国本土や海外にいる若手研究者、そして日本人若手研究者の間で研究知見の共有と交流である。2023 年度は、中国本土で活躍されている 3 名の研究者を招き、以下内容で公開集会を行いました。 <p>2024 年 3 月 26 日（火） テーマ：オープンサイエンス運動とプレレジ実践 講演者：Chuangpeng Hu (Nanjing Normal University, China)</p> <p>2024 年 4 月 1 日（月） テーマ：伝統 VS 非伝統的学術の道 ～ポストク研究員の活動と研究紹介～</p> <p>タイトル①：貧富の差による社会心理的影響 講演者：Zhechen Wang (Fudan University, China)</p> <p>タイトル②：ソーシャルメディアの使用と社会正義 講演者：Hui Fa (Fudan University, China)</p> <li>● 成果： Chuangpeng Hu 氏より、オープンサイエンス運動の流れとプレレジの具体的な方法について紹介され、参加者にとってプレレジの実践に役立つ内容となりました。Zhechen Wang 氏と Hui Fa 氏より、最新の研究成果を発表され、また自身のポストクの経験についても共有された。参加者が研究の内容や進路について積極的に質問され、有意義な時間となりました。</li> <li>● 将来計画： 2024 年度は引き続き 1～2 ヶ月に 1 回オンライン勉強会を行い、海外で活躍されている研究者を招き、公開集会を開催する予定です。</li> </li></ul>		

(様式5)

2024年 4 月 21 日

日本心理学会研究会 2023年度会計報告書

研究会名称 留学生ネットワーク・教育心理学勉強会

研究会番号 23015

助成金額 30, 000円

年月日	項目	金額
2024年3月26日	講師謝礼	¥10, 000
2024年4月1日	講師謝礼	¥10, 000
2024年4月1日	講師謝礼	¥10, 000
支出合計		¥30, 000